

特別養護老人ホームたかね荘 利用料

(単位：単位数)

科 目	金 額				
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
基本料	573/日	641/日	712/日	780/日	847/日
日常生活継続支援加算	介護福祉士の資格を持つ介護職員を介護保険法で定められた割合以上配置			36/日	
看護体制加算(Ⅰ)	常勤の(正)看護師を1名以上配置			4/日	
看護体制加算(Ⅱ)	看護職員等により、24時間連絡体制を確保し健康上の管理を行います。			8/日	
夜勤職員配置加算(Ⅲ)	夜勤時間帯(早朝、夜間)に介護・看護職員を基準より上回って配置し、特定認定行為に従事できる介護職員を配置した場合			16/日	
個別機能訓練加算(Ⅰ)	機能訓練指導員等が、機能訓練計画に基づき機能訓練を実施した場合			12/日	
個別機能訓練加算(Ⅱ)	個別機能訓練計画書の情報を厚生労働省に提出し、サービス提供にあたって情報を活用し、適切かつ有効に実施した場合			20/ 1月につき	
栄養マネジメント強化加算	管理栄養士を配置し、利用者毎の栄養状態等の情報を厚生労働省に提出し、継続的な栄養管理の実施に当たって、情報を活用し、適切かつ有効に実施した場合			11/日	
褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)	褥瘡の発生に係るリスクを評価し、リスクが高い方には褥瘡ケア計画に基づきケアを実施した場合			3/ 1月につき	
褥瘡マネジメント加算(Ⅱ)	(Ⅰ)の算定要件を満たした上に、褥瘡が発生するリスクがあるとされた入所者等について、褥瘡の発生がない場合			13/ 1月につき	
ADL維持等加算(Ⅰ) 又は、 ADL維持等加算(Ⅱ)	ADL(日常生活動作)の維持または改善の度合いが一定の水準を超えている場合：ADL利得の平均1以上 ADL(日常生活動作)の維持または改善の度合いが一定の水準を超えている場合：ADL利得の平均2以上			30/ 1月につき 60/ 1月につき	
科学的介護推進体制加算	ADL値、栄養状態、口腔機能、認知症の状況等に係る情報を厚生労働省に提出し、施設サービス計画を見直すなど、サービス提供にあたって情報を活用し、適切かつ有効に実施した場合			50/ 1月につき	
安全対策体制加算	外部の研修を受けた担当者が配置され、施設内に安全対策部門を設置し、組織的に安全対策を実施する体制を整備している場合			20/ 入所時に1回	
認知症専門ケア加算(Ⅰ)	認知症介護実践リーダー研修修了者を配置し、技術的指導に関する会議を定期的に関催する場合			3/日	
排せつ支援加算(Ⅰ)	排せつに介護を要する原因を分析し、支援計画に基づくケアを実施した場合			10/ 1月につき	
排せつ支援加算(Ⅱ)	入所時等と比較して、排尿排便の状態の少なくとも一方が改善するとともに、いずれにも悪化がない、又は、おむつ使用ありから使用なしに改善している場合			15/ 1月につき	
排せつ支援加算(Ⅲ)	入所時等と比較して、排尿排便の状態の少なくとも一方が改善するとともに、いずれにも悪化がない、かつ、おむつ使用ありから使用なしに改善している場合			20/ 1月につき	
療養食加算	療養食を提供した場合			6/ 1食につき	
経口移行加算	経口摂取に移行するための栄養管理を実施した場合			28/ 1月につき	
経口維持加算	経口維持を行うための栄養管理を実施した場合			400/ 1月につき	
再入所時栄養連携加算	入院後に、入所中とは大きく異なる栄養管理が必要となった場合、管理栄養士が病院の管理栄養士と連携して栄養ケア計画を策定して、再入所した場合			200/ 1月につき	
看取り介護加算(Ⅰ)				1,280 死亡日 680 前日又は前々日の場合 144 死亡日4日前～30日前までの場合 72 死亡日45日前～31日前までの場合	
初期加算	入所又は1カ月を超える入院から再入所した場合 (30日間算定)			30/日	
福祉施設外泊時費用	病院等へ入院した場合及び居宅などへ外泊した場合 (月6回限度)			246/日	
外泊時サービス利用費用	1月6日間を上限 外泊中に施設職員が提供する在宅サービスに係る費用			560/日	

介護職員処遇改善加算Ⅰ	(介護職員等の賃金改善等を実施し基準を満たしている場合) 所定単位数(基本料+各加算)×8.3%を1月につき算定					
介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ	介護職員等の賃金改善等を実施し基準を満たしている場合) 所定単位数(基本料+各加算)×2.7%を1月につき算定					
介護職員等ベースアップ等 支援加算	介護職員等の賃金改善等を実施し基準を満たしている場合) 所定単位数(基本料+各加算)×1.6%を1月につき算定					
介護保険の負担限度額の区分	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階	
居住費	個室	320	420	820	820	1,171
	多床室	0	370			855
食費	朝食のみ	300	385	385	385	385
	昼・夕食のみ			530	530	530
	朝+昼食		390	650	915	915
	昼+夕食				1,060	1,060
	朝+昼+夕				1,360	1,445
日常生活費	タオルリース料(タオル、バスタオル、おしぼり)				93	
	洗顔用品(シャンプー、リンス、ボディソープ、歯磨き粉)				11	
	消耗品(ティッシュ、ペーパータオル等)				6	
	合計				110/日	
預かり金管理料	通帳及び小口現金の出納管理				200 1月につき	
電気代	個人で持ち込まれる電化製品(テレビ、冷蔵庫、電気毛布等)の電気使用料				30/日	
嗜好品の飲料	ジュース類(水分補給としてのお茶・施設ケア又は行事の一環として提供するスポーツドリンク等以外で嗜好品として別に飲み物を希望された場合)				ジュース(1杯) 30 コーヒー(1杯) 10	
理美容代	外部業者による理美容を利用できます。外部業者が定めた料金となります。					
死後の処置料	死後の処置に係る費用(処置材料、技術料)				7,850	

注1) 坂町は、地域区分が「7級地」であるため、単位数の合計に10.14円を乗じた金額が料金となります。なお、利用者の自己負担は、保険者が発行する負担割合証により1割～3割負担です。(介護保険料滞納者の場合は3割負担)

注2) 居住費・食費については、介護保険負担限度額の認定を受けている場合、認定証の区分に応じてお支払いただきます。ただし、実費利用の場合は第4段階の区分の利用料となります。

注3) 日常生活費は、タオル類、洗顔用品、消耗品(ティッシュペーパー、ペーパータオル等)の身の回り品として日常生活に必要なものです。持ち込まれる場合は負担の必要はありません。

注4) 通帳の管理、医療費や散髪代、お買い物代等のお支払い代行をご希望される方は、出納管理に必要な経費をご負担いただきます。ご家族様等でその都度、必要経費をご持参される場合やお支払い対応をしてくださる場合は負担の必要はありません。

注5) テレビ、冷蔵庫、電気毛布等の電化製品を持ち込まれた場合の電気使用料です。

※携帯電話の充電器や電気髭剃り等の小型家電は除きます。施設が健康管理上、必要と認める電化製品(酸素濃縮器等)の使用については負担の必要はありません。

注6) 嗜好品としての飲料を希望された場合には、1杯(約200ml)単位でのご提供となります。

注7) 料金表以外に行事等の関係で、実費負担となる場合があります。